

さつき平防犯推進委員会（埼玉県）



皆さんこんにちは。最初に、設立当初より代表を務めております竹内から、御挨拶と近況報告をさせていただきます。

防犯推進委員会の代表をしております竹内です。今日は、さつき平という団地が誕生してから、防犯活動開始頃の状況について説明させていただきます。

さつき平は、昭和の終わり頃から平成の初め頃にかけて大規模開発をされた 13 階から 21 階の中高層鉄筋コンクリートの建物で、約 2,800 世帯、当時の人口で約 8,000 人。現在は 6,600 人で 17 自治会の団地です。

平成元年から平成 3 年にかけて入居しました。当時は建設と入居が並行して行われ、入居者は 40 歳代を中心とした年齢層の勤め人とその家族がほとんどでした。この時期、経済面ではバブルの崩壊が起こり、大きな会社の倒産もありました。また、自治会が出揃ったのが平成 10 年頃となりました。

平成 16 年 10 月に、地元の吉川警察のご指導により防犯推進委員 6 名が誕生いたしました。この平成 16 年度は、埼玉県の犯罪発生件数が最多となった年であり、防犯活動を早急に立ち上げなければならない緊急事項となりました。6 名の推進委員は会議を開き、さつき平防犯委員会の設立と平成 18 年度より始める自治会による防犯パトロールの実施を決め、また安全安心のまちづくりを進めるには、具体的系統的な地域全員参加の活動が必要であることから、まとめる大変さはあるけれど、17 自治会の参加を進めていくことを決めました。

防犯パトロール年間計画作成の過程で、自治会の負担を軽く、年間 9 回できること、しかもかなり高い頻度で平均 2.4 回に 1 回、地域に防犯パトロールグループの投入が可能になることが分かりました。

地域特性の人のよさを活かすことは、無理をせずに地域の安全が維持できることにもつながり、また負担の軽さは頑張らなくても長く続けられることを可能にすると考え、良いスタートが切れるということで全体の活動がスタートしていきました。



設立当初から代表を務めております竹内は、何と今年で 91 歳。現役でまだやっただいいてるので、「ちょっと年をとったからつらいな」なんてことは、我々は一切口にできないという状態でや

っております。

ここから、私柳瀬の方から説明をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

活動地域は埼玉県の三郷市です。三郷市は埼玉県の一番南東に位置し、東は江戸川を挟んで千葉県流山市、松戸市、南は東京都、寅さんで有名な葛飾区と接しております。ということは、犯罪を犯してから管轄外へ逃げやすいという特有の立地を持っております。

さつき平は三郷市の北部中央、JR 武蔵野線の新三郷駅から徒歩 15 分程の所にございます。先ほど竹内からも説明がございましたが、14 階から 21 階建てのマンションが 17 棟立っており、20 ヘクタールほどの土地に令和 2 年 9 月 1 日現在で、2,851 世帯、6,632 人の住民が住んでおります。

団体概要

団体名	さつき平防犯推進委員会
設立時期	平成16年10月
代表者	竹内 貞夫
委員数	36人（地域防犯推進委員及び17自治会防犯担当者）
設立目的	防犯活動をより効果的・継続的に推進するため
活動内容	防犯パトロール・登下校見守り活動、情報共有・提供

団体の概要ですが、地域の子供たちの安全見守り活動をしていた地域青少年育成会のパトロール活動をベースに引き継ぎ、比較的問題なく地域住民の防犯見守りをするための新しい組織を作ることができました。

平成 16 年 10 月、さつき平地区に初めて地域防犯推進委員 6 名が委嘱され、この 6 名を中心として同年、さつき平防犯推進委員会を立ち上げました。現在は吉川警察署より委嘱されている、防犯推進委員と 17 の自治

体の防犯担当の合計 36 名で構成されております。活動としましては、各自治体の防犯パトロールや子供の見守り活動の中心的な役割を果たすとともに、さまざまな活動を通じて得られた防犯情報を各自治会の代表者へ伝え、住民への共有や管理者への働きかけを担っております。

防犯パトロール

◎自治会パトロール

- 年間153回実施
- 報告書を作成し、情報共有に活用

◎特別パトロール

- 『一斉パトロール』（さつき祭終了後）
- 『減らそう犯罪の日パトロール』（10/11）
- 『ハロウィンパトロール』（10月）
- 『歳末パトロール』（12/29）



登下校見守り活動

◎青少年育成会等と連携

- 関係団体と連携
 - 瑞穂中学校区地域青少年育成会
 - PTA
 - スクールガード
- 毎日実施（休校日を除く）
- 当日参加できる有志により活動



続きまして、防犯パトロールについてです。先ほど竹内代表からもありましたように、17 の自治会がそれぞれ年間 9 回、合計 153 回のパトロールを実施しています。その他に地域青少年育成会のパトロールや、小中学校の PTA のパトロールが、毎週決まった曜日になされています。この地域だけで年間 300 回以上のパトロールの実施が実現されております。

年間スケジュールは、他のパトロールの実施予定を決定しながら、委員会で策定をしております。

パトロール日程は各自治会で期間内に選定し、活動時間については、16 時から 23 時までのいずれかの参加しやすい 1 時間を選んで実施しております。自治会パトロールの他にも、お祭りの後の一斉パトロールや埼玉県の条例で定められた「減らそう犯罪の日」である 10 月 11 日のパトロールも実施しております。特に 10 月末にハロウィンパトロールというものを企画して、子供や親子に参加してもらって、地域の危険な場所を防犯推進員と確認しながら歩いております。仮装したり、子供が参加するとお菓子がもらえたりするなど、親子で参加しやすいパトロールを考えて実施しております。年末には歳末パトロールも行っております。

次は登下校の見守り活動です。私たちは、地域青少年育成会、PTAなどと連携して活動をしており、休校日を除いて毎日実施しております。ある程度のシフト決めて、当日活動できる方に参加していただいております。しかし割り振りや年間スケジュールが確定しないなか、日々の人数が安定しておりません。大切な子供を守るためですので、住民の皆さんの理解を得ながら、活動を広げていきたいと考えております。

情報共有

◎会議

- 毎月1回…防犯推進委員会
自治会連絡会
- 年3回…合同会議
- 年4回…青少年育成会

◎ホットスポットマップ

- 住民アンケート等により、危険箇所等の情報を集約
- ホットスポットマップを作成し、住民と共有




さつき平防犯推進委員会

次に情報共有についてお話をいたします。毎月の会議を通じて、自治会連絡会や防犯担当者に伝えられ、そこから各住民に周知されていきます。

それぞれの会議については、防犯推進委員会会議では、活動方針や計画を検討し決定する会議です。自治会連絡会では、各自治会にパトロールの月間報告書や防犯情報等を共有しております。年3回の防犯推進員と各自治会の防犯担当者報道会議では、方針計画の徹底を図るとともに、自治会の活動報告を行い、自治会ごとの問題点や工夫している内容を共有しています。青少年育成会の理事会に出席し、自治会連絡会の代表とともに意見交換をしています。また、管轄警察からの防犯情報や、住民から提供された情報は、随時防犯担当者を通じて各自治会で共有いたします。吉川地区防犯協会から発行される、クライムウイークリーについては、2カ所ある共用施設の掲示板と市の掲示板に掲示し、地域住民に周知しております。

それぞれの会議については、防犯推進委員会会議では、活動方針や計画を検討し決定する会議です。自治会連絡会では、各自治会にパトロールの月間報告書や防犯情報等を共有しております。年3回の防犯推進員と各自治会の防犯担当者報道会議では、方針計画の徹底

次に「ホットスポットマップ」について説明をします。年に1回開催される、さつき平のさつき祭りにおいて、委員会では防犯のブースを設置しております。ブースでは、犯罪情報の掲示や、犯罪チラシの配布と共に、犯罪に関するアンケートを実施しております。回答が得られた危険箇所は、地図に落としてホットスポットマップを作成し、住民やPTA、教職員と情報共有をしております。また警察や市、その他所有者や管理者に伝えるべきことがある場合、委員会から連絡をしております。

それぞれの会議については、防犯推進委員会会議では、活動方針や計画を検討し決定する会議です。自治会連絡会では、各自治会にパトロールの月間報告書や防犯情報等を共有しております。年3回の防犯推進員と各自治会の防犯担当者報道会議では、方針計画の徹底

情報共有

◎パトロール報告書

- 報告書に、予め地図を印刷
- 不審者・不審物等の発見事項を地図に書き込んで報告
- 報告内容は、自治会連絡会にて情報共有
- 各自治会の実施者数等も集計し、合同会議で情報共有



さつき平防犯推進委員会

続いて情報共有です。パトロール報告書についてお話しします。画面の右側が報告書です。

にて情報共有をしております。

特徴といたしましては、御覧のように用紙の中央にさつき平地区の地図が印刷されています。不審者や不審物など、何か発見した場合には、時間や場所を直接地図に書き込みます。どこで何が起きたのか地図に書き込むことで、位置情報を正確に伝えることができます。報告書は、月ごとに内容をまとめ、17自治会の連絡会

また各自治会の活動状況として、例えば各自治会のパトロール参加人数等も、年3回の合同会議で共有しております。かつて、とある自治会だけパトロール参加人数などが少ない場合、17自治会の参加人数が比較できるようにすることで、各自治会の温度差も伝わるようになり、参加人数の少ない自治会は、「なんでうちの自治会だけこんな少ないんだろう？」という考えになり、自治会で調整会議を行い、改善することもありました。さつき平のパトロールは、パトロールごとにしっかりとこの報告書を作ることが特徴になっております。

継続的な活動のために...

◎地域全体の防犯意識向上

◎地域の強み="全自治会"の活動参加

◎無理のない・参加しやすい活動

継続的な活動のために行っていることですが、犯罪を起こさせにくい地域づくりには、自分たちの安全安心は自分たちで守ることを基本にして、住民一人一人が協力し、意識を持って行動することが必要です。一部の人間だけが頑張る状況では、多くの住民にとって防犯が他人事になってしまいます。

地域住民全体の防犯意識と連帯意識を育てるために、できるだけ多くの住民が活動することが重要です。

地域の強みである 6,600 人を超える人口を活かすため、少数で行うのではなく、全自治会に活動の参加をお願いしました。初めは難色を示す自治会もありましたが、理解を深めてもらうために、とにかく根気よく丁寧に説明を重ねてまいりました。およそ3年がかりの説明の結果、徐々に理解していただけるようになり、6年で防犯パトロールの意識を定着させることができ、17 全自治会が活動に参加してくれるようになりました。

無理のないパトロールも、定着を図ることができました。この全 17 自治会、6,600 人の人口を生かすことで、1人当たりの活動負担は少なくなりました。各自治会とも年間9回のパトロールがございしますが、自治会内で調整すれば、1人当たりの回数はもっと少なくなると思います。事前に年間スケジュールを示すことで、参加日の調整もしやすくなります。さらに少しでも参加しやすくなるよう、常に改善しております。実施スケジュールの期間を設けて、各自治会で参加者の都合の良い日と時間帯を選べるように改善しております。

困難を越えて

◎パトロール1万人達成

◎スムーズな世代交代



パトロール1万人。これは、埼玉県警の方に「パトロール1万人というのは多いんでしょうか？」という質問を投げかけたことがございます。他のパトロールを皆さん一生懸命やっていますが、何日は男性何人、女性何人で合計何人などの人数を、きちんと記録したものが無かったということで、私どもは18年6月より正式なデータ化をしたのですが、昨年9月に累計1万人を達成することができました。地域住民の皆さんの理解

と、御尽力をいただいた自治会の皆様のおかげで1万人という数を数えることができました。しかし、平成12年から育成会として試行錯誤を重ねてパトロール計画を行い、多くの方の参加をいただき、御意見をもらって現在の形ができ上がっていますので、参加人数の合計はもっと多くなっております。活動を通じて、多くの住民が防犯活動を他人事ではなく、自分の問題として受け止め、自分の地域を守りたいという意識が高まりました。活動は私たちの地域にとって、もはや文化であると感じております。

スムーズな世代交代としましては、初めて参加する人の不安を解消するため、活動の概要やパトロールマニュアル等を、委員会が毎年作成し配布しております。また年度ごとに自治会長や防犯担当が輪番制で変わるところもあるため、かえって多くの住民が防犯活動の中心に関わるできるようになっております。

中心として活動する防犯推進員を、地域で活動している人の中から一人一人見極めてスカウトすることで、素敵な仲間を集めることができました。それにより、防犯推進委員会が発展してきたと

思っております。

パトロール活動を通じて多くの住民に防犯意欲と知識が助成され、スムーズな世代交代ができると考えております。以上で発表を終わりにします。ご静聴ありがとうございました。



講評

木宮 ありがとうございました。まず、御提示いただいた記録というか、パトロールの報告書ですけども、かなり丁寧に作られていて、この報告書を年間 150 回のパトロールごとに作られているということだと、これをまたまとめて住民の方に情報提供する作業は、かなりの労力をかけられていると感じました。ただこれだけ丁寧にされると、この資料の中にもありましたけれども、あげられた箇所をどのように改善していくかという、次のステップにかなりつながっていくのだろうと思いました。

特に情報共有のところで、資料の中ほどですけども「危機感を感じるとともに、それが改善されていく過程を共有する」と。危険な場所がたくさんあるんだということだけを共有するのではなく、町が良くなっていくということ共有していくというのは、ここにもありましたように、地域の愛着や安心感、特に体感治安が最近悪くなっているというのが 1 つの大きなポイントでありますけれども、現実の治安ではなく、人々の感じるそういった治安を上げていくという意味では、この改善過程を見ていただくということは、非常に意義深いと思いました。それも全てこの丁寧な記録があってこそだと感じています。

また、マニュアルを作って世代交代をされるということについても、非常に重要であるし、なかなか大変なことではありますけれども、重ねて言うならば、非常に丁寧というところで感じた次第です。ありがとうございました。

意見交換

質問者 静岡県警察の富士警察署のヤマモトと言います。ハロウィンパトロールをやられているということですけども。時間帯とか、何人ぐらい実際子供さんたちや親御さんたちが集まっているのか、毎年曜日で決めているのか、例えば 10 月の何日ぐらいを予定してやってらっしゃるのかというのを教えてください。

柳瀬 ハロウィンパトロールは、子供たちに、いかに防犯意識を持ってもらうか、女性や子供たちにパトロールに参加してもらいやすい方法をまず考えました。開催日は 10 月末の土曜日を予定し、夕方の 5 時から開催しております。参加人数としては、今年はコロナの影響で開催しなかったんですが、昨年度の子供が 24 人、保護者が 13 人参加して、子供たちにはお菓子をいっぱい持っていっ

てもらいながら、防犯推進委員がこの地域の危険箇所をしっかりと子供たちに教えることで、非常に親子で参加しやすい、今までと違うパトロールが計画できたと思っております。